

邑楽館林ガス事業協同組合様より 「災害時の炊き出しセット」が寄贈されました

8月26日、邑楽館林ガス事業協同組合の木部副理事長をはじめ関係者の皆様が来庁し、明和町へ災害時の炊き出しセット3台(100万円相当)が寄贈されました。



【木部副理事長より目録を贈呈】

邑楽館林ガス事業協同組合様とは、平成30年2月に「災害時におけるLPガス等供給協力協定」を結び、その際もたくさんの卓上コンロ並びにガスボンベを寄贈していただきました。

LPガスは、災害時最後の頼れるエネルギーと言われており、電気がなくても使える災害必需品です。

昨今、異常気象が原因の自然災害により、各地で甚大な被害が発生しております。大型台風の接近や首都直下地震等、本町においても何時、どこで、何が起きるかわからないと思慮しているところです。明和町では、住民の生命や財産を守るため、災害を想定して多少備蓄しておりますが、炊き出し等に関する準備は手薄のため、今回寄贈していただいた炊き出しセットは大変ありがたいと思っております。



【120人分のご飯が炊ける釜と汁物ができる寸胴】

災害がなく使用しなくて済めば良いのですが、いざという時のために、コロナ禍が開けましたら、訓練を兼ねて色々な行事で使っていきたいと思います。

また、昨年から行政区を対象に炊き出しセットや発電機、投光器等を配備して地区のお祭りや、行事でも使っていただこうと準備をしました。昨年は11地区配備し、今年度は4地区に配備予定です。皆様も、機会がありましたらぜひ使ってみてください。

そして、今後とも邑楽館林ガス事業協同組合様とは、地域の安全・安心のため共同で事業が展開できますように願っております。理事長の鈴木 賢一様をはじめ、ご厚意を賜りました皆様に心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

令和3年9月6日

明和町長 富塚もとすけ